

<第4回 竜神地域会議 会議録>

日 時 令和7年7月22日(火) 18:00～19:20

場 所 竜神交流館 多目的ホール

出席者 委 員 12名

事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、鈴木担当長

1 報告事項

- (1) 安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」の進捗について
 - ・交通安全危険箇所マップの自治区イベント等での活用予定
⇒10/19(日)竹下自治区スポーツフェスタでの支所出展
 - ・移動式赤色回転灯を活用した交通安全啓発について
⇒7/15(火)竹中自治区、7/16(水)土橋自治区での実施報告
- (2) 高岡4地域合同事業の進捗について
 - 【世界ラリー選手権を活かした交通安全啓発事業】
⇒6/28(土) マイタウンおいでん高岡での出展報告
 - 【高岡4地域防災力向上事業】
⇒高岡コミセンにて防災に関するロビー展示(東海豪雨等)の実施報告

2 協議事項

- (1) 次の提言に向けて竜神地域が取り組むべき地域課題について(グループワーク)
 - A、Bの2グループに分かれて協議した。
 - 【Aグループ】
 - 1 番目(交通安全対策事業)については、成果が出てから、さらにアンケート等を実施して、その結果を見てさらに今後に生かすという進め方が良い。
 - 2 番目(防災対策の取組み)については、防災マップというものが前回あったと思うが、それをさらに有効に活用できるような何かがあればいいという意見があった。実際の災害の時には、訓練ができてないものは実際には決して動くことができない。だから、事業所にも訓練に参加してもらえば、災害があった時に慌てずに活動ができ、訓練の効果も高いのではないかなと思う。また、大きなイベント等の中で、子供も大人も参加できるような防災に関するゲームで意識付けができればよい。
 - 3 番目(共助交通に対する勉強会)については意見がなかった。
 - 4 番目(竜神地域でのコミュニティの課題)は何が原因は何かというところですが、2つをあえて選ぶならAのライフスタイルの多様化、そしてイの地域に対する関心の低下を選択する。昔は地域の人がいろいろやってくれていたが、今は忙しいと言って断る、今なんとなくそういう世の中になってきているので、少しでも繋がりを強めることが、安心、安全なまちを維持するためには必要と思う。企業とのコミュニケーションを強めて安全安心なまちづくりを進めたい。
 - 5 番目(子どもたちの様子)については意見がなかった。

【Bグループ】

1 番目（交通安全対策事業）については、事業継続が必要であり、評価まで行って完了とするものと考えている。2 点目の竜神地域全体が参加するイベントでの意識啓発については、何かを作って配布するだけではだめで、その後の活用方法が大事である。

2 番目（防災対策の取組み）については、以前作ったハンドブックがうまく使われるように、再度活用できるような検討が必要と思う。ハンドブックが今どうなっているかについて、地域の人に聞いてみてはどうかという意見もあった。

3 番目（共助交通に対する勉強会）については、先進事例の検討を聞いてみようかという意見があった。

4 番目（竜神地域でのコミュニティの課題）については、低下の原因としては、アのライフスタイルの多様化とイの地域に対する関心の低下が圧倒的に多かった。

5 番目（子どもたちの様子）については、意見が分かれたが、一部の子については声かけ等が必要という意見があった。

4 連絡事項

(1)「豊田市平和都市宣言」について

・事務局より説明

(2)「交通死亡事故警報」の発令について

・事務局より説明

★次回開催

9 月 30 日(火) 午後 6 時 0 0 分～